

…横浜山手から八聖殿經由本牧神社へ…

日時:2017年10月18日(水) 天候:晴れ後曇り 23000歩 約16Km

集合:JR石川町駅(南口) 10時

コース:石川町駅→元町商店街→外人国墓地→港の見える丘公園→ワシン坂→本牧十二天跡地→八聖殿→本牧神社
→アメリカ坂→JR根岸駅(解散)

参加者:平石(L) 仲(SL) 班長:熊島 山川

勅使河原 平嶋 熊坂 小野里 青松秀 佐藤繁 小林 山内 長井 森川 井内 伊藤美 小島 志村 武倉
山田 加納富 高山 赤須 仁井 畠/一般:徳田 計26名

このところの冷たい雨で真冬並みの気温が続きましたが、この日は久しぶりに朝から青空が広がり暖かくなりました。おそらくリーダーの運と晴れ男&晴れ女が集まったせいでしょうか。今回は過去に何回か歩いた覚えの有るコースですが…え、もう忘れていた？もしかしたら既に認知症の入り口かも！10時丁度に駅をスタートし首都高下の西の橋を渡り、その先の広場でストレッチとコース説明後、中華街に入り関帝廟に出ましたが、建物の周囲には工事用のパイプが建てられていて、些か情緒がそがれますが取り敢えずここで集合写真を一枚。馬祖廟から朱雀門を通り元町公園へ。定番の外人墓地経由で港の見える丘公園で休憩。小港南公園では保育園児たちの運動会(?)練習風景を眺めながらのランチタイム。八聖殿がある本牧臨海公園では、かつての本牧海岸の古写真パネルを見ながら、眼下に広がる埋立地の工場・倉庫群に時の流れを感じつつ、以降は一部予定箇所をカットし本牧神社を後に根岸駅に向かいました。今回のコース、予定表には11kmとありましたが、終わってみれば5kmオーバーの何と16km！カット箇所がなければ更に延びたかも。いやはや…

<フォトレポート 小島>



関帝廟で。日陰で暗くなってしまいましたが、前の女性陣が明るく撮れたので勝手ながら良しとしますか！



石川町駅南口前。意外と客待ちタクシーが多い。



朝は気温が低く風が冷たいので日向で時間待ち。



リーダーより前を歩かない・・・見本？



横断歩道は保育園児と一緒に！あんな頃もあった・・・



一日のスタートは熊坂さんの全身を伸ばすストレッチから！
(いきなり始まって、まだ準備の出来ていない人も・・・)



ここで平石しからコース説明と一般参加者の紹介。



朝方の中華街の路地。人通りもなく店も準備中。



関帝廟に到着。外郭工事のパイプが見えて情緒なし。



中国様式はどうしてこんなにハデハデなのか・・・



客に見えないので店の人も無視？



山下小公園も中華風です。



あれ、横断歩道で出会った園児たちでは？



横浜媽祖廟。これいつ出来たの・・・



■ 媽祖廟 ■

2006年(平成18年)3月17日に、横浜媽祖廟は開港から150周年を迎える横浜の新名所として横浜中華街に落慶開廟。明治時代の清国領事館の跡地である山下小公園に隣接している。台湾最初の官建の台南市大天后宮より分霊された。「媽祖」は、北宋時代に実在した福建省・林氏の娘であり、生まれて1か月も泣き声をあげなかったため、『林黙娘』と名付けられたが、小さいころから才知に長け、10歳のころには朝晩の念仏を唱えるようになるなどした。28歳のときの9月9日、修行を終えて天に召され神になり、海上を舞い難民を救助する姿が見られたとされ、人々は廟を建て護国救民の神として祀るようになり、その神通力は国中に知られることとなり歴代の皇帝も諡号で敬意を表すようになった。その後、航海を守る海の神のみならず、自然災害や疫病・戦争・盗賊などから護る神として中国・台湾のほか華僑が住む世界各地で信仰されている。

(Wikipediaより抜粋)



中華門の一つ朱雀門。やや地味目な小さな門です。



前田橋を渡り元町商店街を横断。ここも人通りなし。



フランス菓子で知られる「霧笛楼」ですね。



こちらは元町を行く「無敵」の三人？



商店街を抜けるとそこは元町公園。



公園入口のシンボル、お馴染み「ジェラルム水屋敷跡」



本日最初の上りはこの階段、まだ余裕十分・・・



と思ったら、こちらが本命の上り階段でした！



山手80番館跡の案内板。この頭は誰？



レンガ造りの建物跡が残っています。



洋館街を抜けて外国人墓地へ。



英文ならお任せ！三人の達人？



晴天でランドマークも望めます。



墓地前にはこんな公園が出来ていました。



青空をバックに、バラとパンパスグラスのコラボ。



お馴染みの港の見える丘公園。ベイブリッジもハッキリと見え、この日来た人はラッキーですね。



お隣は誰？高齢の“ナンパ師”か！



花壇には綺麗な花々が咲いています。



噴水には、コスモスのピンク色が似合います！



元町にあった霧笛楼の支店？カフェのようですが・・・



ワシン坂への道。左はかつて、あの方の家。



ここはベイブリッジが一直線で見える所。



午前部、最後の上り坂・・・



着いたのは小港南公園でした。ここで昼食です。



ここにはトイレ・ベンチもありました。



保育園児の“厳しい”練習を見ながら・・・



何だかまだ食べ足りないようなご様子の皆さん。



でもこの場所が空いていて助かりました。



この手は何？箸は正しく持ちましょうね！



ランチを終えると皆さん笑顔になるようで・・・納得！



こちらでは柿を頂いたのでシャッターを・・・でもタイミングが。失礼しました！
※コンデジはタイムラグで瞬間の切り取りが遅れるので皆さんもご注意を。(確認ミスです)



さあ、ランチを終え午後の部スタート。



街路樹もすっかり秋の気配。



本牧十二天緑地です。ここは江戸期には本牧本郷村と呼ばれ、外国貿易のお金の代わりになるほど大切にされた「いりこ」の生産と、内湾を航行する廻船の湊として賑わっていたそうです。



後ろから失礼を！ゴミならぬ银杏拾いの図。



银杏と言えば、あの“银杏命”の方の成果は如何に？



本牧東公園で童心に戻る三人。右は重量オーバーか？



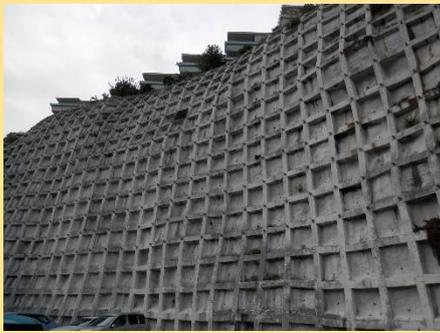
外人の子と一緒にブランコ。どちらが子供だか・・・



寄ってきた犬。私も犬好きな成年なもので・・・



この碑を見て山登り。意味不明なコースへ。



かつてはこの下まで海でした。



あの上までこの階段で・・・



さすがに“渋滞”が発生します！



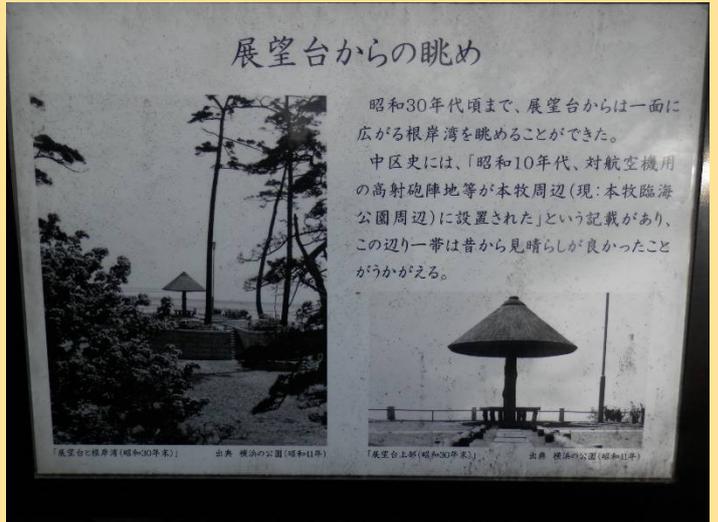
上は八聖殿がある本牧臨海公園。フグがいた！



かつての海は後退し眼下の埋立地には工場群が。



当時の写真パネルがありました、子供の頃に私もこの海岸で遊んだ覚えがあります。



ここで暫しマッタリと。時間も押してきました。



先ほど上った分をまた下ります。お疲れ様！



今歩いている所は、かつての海の上ですよ～



こんな所に転車台？ 奥にはマニア垂涎のD51が！



本牧市民公園に到着。皆さんかなりお疲れの様子。



ここでリーダーよりコース短縮の話が・・・遅い！



疲れていないのはリーダーだけかも。



この先には本牧神社があります。



再建移築された本牧神社。



今日一日を感謝し家内安全を祈って。



神社の裏手からは山頂公園への道も。



神事「本牧のお馬渡し」に使われる茅の育成場。



もうゴールが見えたせいか皆さん安堵の笑顔ですね！距離が詰まって良かった？

■本牧神社■

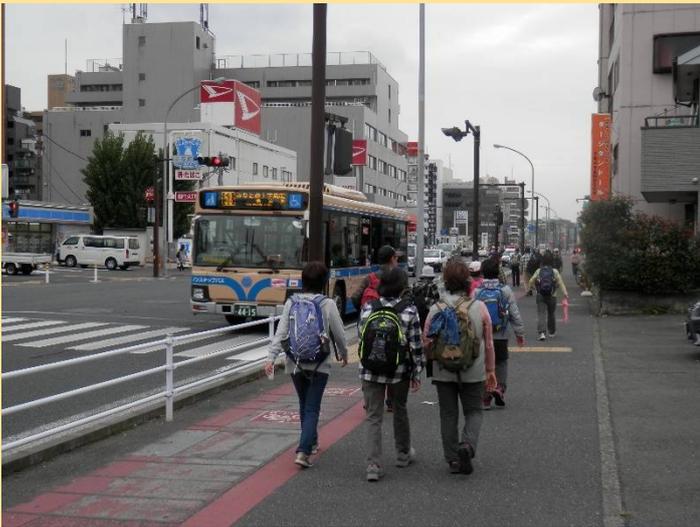
本牧神社は、元々は東京湾につきだした高さ 30 メートルほどの本牧十二天の丘の麓に所在していた。太平洋戦争の際、本牧十二天の丘も空襲に遭い、社殿、境内を消失する。氏子によって仮社殿が造営されるが、戦後アメリカ軍は横浜に進駐し、昭和 21 年から本牧十二天を含む本牧地区はアメリカ軍の住宅地区として接收された。昭和 29 年には、氏子が結成した本牧神社復興奉讃会による寄付が行われ、本牧町へと仮遷座した。昭和 57 年、アメリカ軍から本牧地区が返還され、横浜市による区画整理事業が始まる。平成 5 年、所在地を本牧和田へと移し社殿が完成した。(Web サイトより)



帰り道は足取りも重く。駅まであと何分くらい？



今日はよく犬に会います。(戌も歩けば犬に当たる?)



ここまで来れば根岸駅はもうすぐ。



駅前スペースでクールダウンし解散。(焼き鳥屋台の前！)

※日中は暖かだったものの、さすがに午後になると空気が冷えてきました。エアポケットのようなこの晴天、秋はこうでなくては。鎌倉辺りもそうですが、ウォークは過去に歩いた同じ所を再度歩くのも良いもの。このコースもまた季節を変えてチャレンジしたいものです。皆さん“長距離”をお疲れ様でした。

追記:テレビでやっていましたが、ウォーキングが「認知症予防」の一つとして挙げられています。但し、ただ前の人について黙々とコースを歩くだけでは効果なく、途中の風景を楽しみつつ、木々の緑や鳥の声、川の流れや水の音を感じ、空に浮かぶ白い雲に思い出を辿り、地元の人々との何気ない会話等が五感を刺激し、脳の活性化に繋がるそうです。またウォーク中は前後に気を配り、車や自転車、通行人にも常に気を付けて歩くことも脳の刺激になるようです。前から何が来ても避けずに平気で歩く人は、この先々認知症には要注意ですよ！

END